



府史跡 立教館

校地内に史跡の在る学園は全国的にも極めて珍しく、立教館はもと国分中之町にあり旧奈良街道に南面して建てられていた。書院造りの風格と、河内の民家の伝統と素朴さを併せ持った立派な建築で、1803年（文政十三年）に教育に対し燃えるような情熱と追求心を持った地元医師、柘植葛城（つげかつじょう）が郷土の子弟を教育する為に創設された。柘植氏は、医術を学ぶ前は頼山陽にも師事し、山陽門下の四天王の一人とたたえられた。山陽も立教館を再三来訪し、詩文などを残した。

1872年（明治五年）の学制発布で小学校となり、私塾寺子屋の役目は終わったが、1934年（昭和九年）まで使われ、64年（昭和三十九年）に本学園に移築し、現在に至る。